2013 日本代表チーム選手選考規定　※変更点は赤字で明示、理由は青字で明示

1. 国際大会への日本代表チーム選手選考は日本代表選抜ランキングと主催者の選考基準に合わせて行われる。選考基準が主催者により設定されない場合は、日本代表チーム選手選考は原則として当該国際大会の開催される前年度の日本代表選抜ランキングのポイント１００％と前々年度の日本代表選抜ランキングのポイント５０％の合計により、その上位から順に選考する。~~ただし、当該国際大会の開催される前年度 PJL ランキング（オープンクラス）１位の者は当該国際大会のチームサイズが２＋１以下であった場合は、補欠ランキングの第１位とし、チームサイズが３＋１以上であった場合は優先的に選考される。（PJL ランキング（オープンクラス）１位の者が、日本代表選抜ランキングにより選考されている者と重複した場合においても、PJL ランキング（オープンクラス）２位以下を繰り上げて選考することはしない。）~~この文言はこれまで海外の大会に出られない状況の選手でも、また、経験が長くなくても若くて勢いのある選手であれば結果を残せると考え、また新人のやる気を鼓舞する目的で導入されていたもの。しかしこれまでの経験から、海外での大会経験のない選手が初めての国際大会で実績を残せることは考え難く、また、２年にわたり世界を目指してきた選手が、たまたま１年のＰＪＬで１位になった選手により国際大会に出られなくなるのはモティベーションが下がるデメリットの方が大きいと判断した。

2. 日本代表選抜ランキングは、PJL 大会で成立したタスクのどれか１本のデイクオリティが０．６以上となった大会の総合順位および、次項に定める国際大会の総合順位に対して与えられる点数のうち高いほうから３大会（ただし、少なくとも１大会は PJL 大会とする）の点数を合計してつけるランキング（同点が出た場合は、参加した全ての大会の平均点の高いほうを高順位とする）である。

3. 日本代表選抜ランキングに計上できる国際大会は FAI 公認世界選手権、FAI 公認大陸選手権、PWCA 公認ワールドカップ（本大会のみとし、プレあるいはセレクションツアーなどは含まない）および海外で開催されたこの文言を入れないと国内で開催されるカテゴリー２大会はＰＪＬ大会でありながら前項のデイクオリティが０．６云々の縛りがなくなってしまい整合性が取れなくなるため FAI カテゴリー２以上の国際大会とする。また、海外での大会をポイントに計上したい選手は原則として大会終了後１ヶ月以内に JHF パラグライダー競技委員会までポイント計算に必要な書類（選手全員フルネームと各タスクの成績の記載されたオフィシャルファイナルリザルト）を提出する。

4. 日本代表選抜ランキングの各大会におけるポイントは次の通りとする。

ポイント＝N×(1＋S／100）×（1+R×5／100）（小数点以下第 2 位を四捨五入し、第 1 位まで算出する）

ここで N＝－α√（本人順位－1）＋（50－P）

ここで α＝（49－P）／√［{(成立したタスクにおける参加者数累計）／（成立した本数)｝×0．6－1］

P＝３０－（成立したタスクにおける参加人数累計）／（成立したタスク本数）とし、この値が負になった場合は０とする

R＝（大会における各タスクのデイクオリティの合計値－１）で最大値は３とする

Ｓ＝成立した各タスクに参加したシード選手のシード係数値の合計を、その大会期間中で合算したものを、その大会で成立したタスク本数で割った数値

同順位が複数出た場合は同順位者を繰り下げた順位までの平均点とする。

5. 国際大会のポイント計算に当たって：

a) 世界選手権、ヨーロッパ選手権、ワールドカップスーパーファイナルの場合は

Ｎ＝６０－（本人の大会順位）

ただし、１位の場合はN＝６０とする。また、Ｓ＝１００とする。

従ってポイント＝２×｛６０－（本人の大会順位)｝×（１＋Ｒ×5/１００）となる。

ここでＲ＝（成立したタスク本数 - １）とし、最大値は３とする。

b) その他の国際大会は 4 項の計算式に準ずる。

6. その他の要件：

a) JHF フライヤー登録が有効であること。

b) 理事会の承認を受けること。